

(別紙様式) 平成30年度 学校自己評価システムシート (県立上尾橋高等学校) (A3判横)

目指す学校像	地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、自立(律)して社会を支えられる人間を育てる。
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的生活習慣を確立し、規律意識を高める。 2 基礎学力の向上を図り、生徒の資質・能力を高める。 3 進路指導の充実により、生徒の自己実現を図る。 4 地域に根ざし、信頼される開かれた学校づくりを進める。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	14名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己目標					学校関係者評価			
年度目標					実施日 平成31年2月8日			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策		
1	<p>・生徒の基本的生活習慣や規律意識は改善傾向にあり、協調性も向上している。</p> <p>しかし、一部の生徒においては、欠如している者もあり、少数の生徒の行動や態度が学校全体の教育活動に影響を与える場面がある。</p> <p>より一層の改善に向け、家庭との連携を深めつつ、きめ細かな生徒指導を行う必要がある。</p>	<p>○基本的生活習慣の確立</p> <p>○生徒の自立(律)意識の向上</p>	<p>①様々な問題を抱えた生徒が存在する中で、生徒たちの見本となる正しい言葉遣いで毅然とした指導と受容的な指導を進める。</p> <p>②遅刻指導(5回目から継続的な指導)の生徒指導部主体が主体となり学校全体で取り組む。</p> <p>③生徒情報を共有し、家庭と学校、場合によっては委員会や関係機関と連携して、生徒の生活改善に効果的な生徒指導を進める。</p> <p>①学校行事をはじめ、委員会活動や部活動、体験活動等に主体的に係る環境を整える。</p> <p>②ボランティア活動に積極的に参加する環境を整える。</p>	<p>①・③アンケート結果やPTAからの意見での信頼されている評価の割合が90%を超えた評価を得たか。</p> <p>①生徒指導案件が昨年度より減少したか。</p> <p>②遅刻指導が全校的に継続して実施できたか。</p> <p>②毎日の欠席・早退率を全校生徒の4.5%以内。遅刻率は6%以内とする指導はできたか。</p> <p>①生徒が主体的に参加したか。また、部活動継続率は60%を超えたか。</p> <p>②ボランティア参加生徒の増加数と意識向上が図られたか。</p>	<p>遅刻・早退・欠席生徒の大幅な減少。基本的生活習慣が安定した</p> <p>①②③頭髮等を含めた整容指導や遅刻指導、スマートフォン等の利用指導等、家庭と学校が協力して指導した結果、アンケートにおいて80%以上の良好な回答を得た。</p> <p>②遅刻指導を月2回以上実施し、学年と指導部が連携して組織的かつ定例化することができた。遅刻率は目標を大幅に達成したが、早退欠席率は達成できなかった。</p> <p>行事への関心、自立(律)意識を高めた</p> <p>①文化祭等の行事では、生徒が自主的に活動し成功に導いた。部活動継続率は78%</p> <p>②生徒の勤労観や奉仕活動の理解を深めた。</p>	A	<p>①②③近年、遅刻・欠席・早退者は減少傾向にあるが、さらに継続して取り組みを進めるために、家庭との連携を密にして協力を仰ぎながら進める。</p> <p>①③指導を実施する中で、繰り返し、常習化している生徒に対しては各機関と連携を図り、一斉指導だけでなく、個々に対応したきめ細かな指導を検討していく必要がある。</p> <p>①部活動の継続率は良好だが、加入率を上げるための方策を検討する。</p> <p>②体験学習機会を充実させ、さらに多様な経験を得られるようにする。</p>	<p>・遅刻の改善については、数値を明示して評価してはどうか、5%向上などの表記の方が効果的である。</p> <p>・学校に距離的に近い生徒の遅刻についてどのように指導していくか。</p> <p>・体験学習については、様々な困難な面はあるだろうが継続していくことが望ましいと考える。</p>
2	<p>・授業をまじめに取り組む生徒が多いが、時として不適切な態度や言動をとることがある。</p> <p>・「できない」と決めつけている生徒が多いことから基礎基本を定着させる学習指導を実施している。同時に、成績上位者も伸ばす取り組みを検討する必要がある。</p> <p>・類型制コース元年であることから、生徒に対し、正確な情報を提供し、適切なコース選択を促している。</p>	<p>○授業規律の確保</p> <p>○基礎基本を定着させる学習指導と学力の向上</p> <p>○資格取得のための補習など、プラスαの教育活動の推進</p> <p>○授業公開等の活用、研修会の実施、コース科目選択説明会の運営、実施</p>	<p>①チャイム着席・授業規律を徹底する。</p> <p>②中学校までの内容の学び直しを授業の中に組み込み、生徒の基礎学力の向上を図る。</p> <p>③年次研修、公開授業、教科会等を活用し、授業改善を進める。他教科の科目を知ることで、コース選択の説明に生かす。</p> <p>④定期考査前の補習(「放課後寺子屋」)を速やかに実施する。</p> <p>⑤各種検定試験の資格取得を奨励する。</p> <p>⑥長期休業中に生徒のニーズ(特に上位生徒)に合わせて開講する夏期講習の実施に向けた検討を開始する。</p>	<p>①チャイム着席・始業は習慣化しているか。日常の授業に取り組む姿勢は向上しているか。</p> <p>②意欲の向上、満足度が授業アンケートの結果が90%を超えたか。</p> <p>③授業改善についての検討がなされたか。コース、科目説明会を実施できたか。</p> <p>④学期末欠点の保有者の減少と、成績優良者が生徒在籍総数の10%を超えたか。</p> <p>⑤資格取得、延べ人数150名を超えたか。</p> <p>⑥実施の可否を含め、全校的な課題として共有できたか。</p> <p>※全体として分掌・学年と連携して取り組めたかどうか。</p>	<p>授業環境の安定化に努め、安心、安全できめ細かな学習環境、機会を提供した</p> <p>①②学校全体で授業規律、チャイム着席に努め、展開や指導の工夫から、満足度は80%を超える良好な評価を得た。</p> <p>③科目説明会を5月に、教科会を適宜実施し、授業改善を図るために情報を共有化した。</p> <p>④補習(放課後寺子屋)等を実施し、欠点保有生徒数は微増、成績優良者は延べ人数118人と10%を超えた。</p> <p>⑤資格取得合格数 延べ329</p> <p>⑥個別の進学補習と検定受験指導を実施し、生徒のニーズに対応した。</p>	A	<p>①②引き続き、落ち着いた学習環境の提供と、日常の授業を大切にすることから、学ぶ意欲を育てていく。</p> <p>③類型制への理解を職員、生徒ともに深め、特にアドバンスコースの特徴が出せるような学習機会や仕組みを検討し、情報ビジネスコースに関しては、ハード、ソフトともに整えていく必要がある。</p> <p>④欠点保有者への対応として、欠点をとらせないための指導を検討する。</p> <p>⑥センター試験利用者のための、進学補習等を検討し企画する。</p>	<p>・本校教諭が上尾市教育委員会主催の研修会において指導的な役割を果たしたことは大変評価できる。</p> <p>・特別支援教育における課題を抱える生徒の指導はこれからも課題となるだろう。</p> <p>・放課後寺子屋は自主的な参加ということであるが、指名補習などについても検討してはどうか。また、寺子屋が有効活用できるように、プラス面のアピールをもっと行ってはどうか。</p>
3	<p>・就職希望者の内定率100%を維持している。</p> <p>これを継続し、生徒の多様な進路希望を実現させるために、進路指導部と学年団がさらに連携して指導にあたる。</p> <p>生徒の進路意識の高揚と自己理解の深化を一層図るとともに、進路実現のために必要な力を身に付けさせる必要がある。</p>	<p>○生徒一人ひとりの希望を叶える進路指導の展開</p>	<p>①進路ガイダンスや進路別見学会、体験活動や適性検査等を通じて、生徒の進路意識の高揚と自己理解の深化を図る。</p> <p>②進路指導部、学年団及び就職支援アドバイザーが協力して面接指導にあたり、さらに合同企業説明会・面接会への参加を通して、面接試験に向けての実践力を養うとともに、進路実現に向けての意識を明確にさせる。</p> <p>③一般常識の力を養う時間の確保に努める。</p> <p>④進路情報・生徒情報を進路指導部と学年団とで共有し指導にあたる。『進路通信』や進路講演会を通じて、保護者へ進路情報を発信する。</p>	<p>①各種の進路行事や学習に対して、満足していると評価する割合が90%に達したか。</p> <p>②面接指導を延べ650回以上行ったか。</p> <p>③一般常識の力を養うための時間数。</p> <p>④進路決定者数、及び保護者への進路情報発信数。</p>	<p>本校の進路指導の満足度は近年高水準</p> <p>①生徒 84.3%</p> <p>保護者87.8%が 生徒の進路意識を高めていると高評価。</p> <p>②面接指導の回数は延べ692回</p> <p>きめ細かな進路指導を展開し、1月15日現在就職内定率 約90%</p> <p>一般受検以外の進学は全員決定</p> <p>③一般常識試験対策として、数学や英語の授業LHRを活用し、計30時間程度実施。</p> <p>④進路通信を3回発行するとともに、面談の機会を設け、家庭との連絡、情報共有に努めた。</p>	A	<p>①②就職試験1社目の合格ができなかった生徒に対し、今年度と同様に粘り強い指導を継続していく必要がある。</p> <p>そのために、個別指導、相談の機会を増やしたいことから、高等学校就職支援教員の配置を希望する。(ジョブサポートティーチャー)</p>	<p>・継続的に採用してくれる会社はあるのか。</p> <p>・面接指導については評議員への依頼も考えられる。</p> <p>・制服をなくすなどの検討はどうか。</p>
4	<p>・学校通信の作成や地域との交流により、情報発信は行なわれている。</p> <p>今後も連携して、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>・県で類を見ない類型制の長所をアピールし、生徒募集につなげていく。</p> <p>・学校、生徒、社会の多様化により、様々な事象に対応する職員の負担が多くなっている。</p> <p>負担を減らしつつ、変化に対応するための組織作りや引継ぎを進める必要がある。</p>	<p>○PTA活動の様子や上尾橋高校の良さを保護者や地域、中学生に伝えるように情報を発信する。</p> <p>○分掌・委員会における仕事分担の明確化。</p>	<p>①メールによる保護者への連絡や、HPによるがんばる橋高生を発信し、充実する。</p> <p>②保護者や地域と連携した活動を推進する。</p> <p>③体験入学、学校説明会、文化祭で個別相談会を実施し、本校への理解を浸透させる。</p> <p>①年度当初の分担、振り分けにおいて、仕事内容を明確にする。</p> <p>②年間計画表の作成と各行事において記録を残す。</p> <p>③委員会や分掌所属人数等の再整備</p>	<p>①ホームページの更新回数が100回を超えたか。</p> <p>②保護者の学校行事参加数。</p> <p>③学校説明会等の参加者が延べ人数300人を超えたか。入学希望者は増加したか。参加者はその内容に満足したか。</p> <p>①・②学校全体の教育活動が円滑に実施でき、正確な引継ぎ情報を残せたか。</p> <p>③委員会や分掌等の所属人数の検討ができ、変化に対応できる適切な組織づくりができたか。</p>	<p>広報活動の方法や媒体の検討が必要</p> <p>①更新回数が前年度より減少した。</p> <p>広報誌「橋」を定期で発行し、地域にも配布することで本校の教育活動を積極的に発信した。</p> <p>③説明会参加人数 約460名</p> <p>中学生高等学校希望調査 97名(0.49倍)</p> <p>校長作成のチラシや体験部活動等、生徒募集行事を充実させた。</p> <p>学校行事、教育活動を円滑に連携なく実施</p> <p>①②学年、教科、分掌、事務局と連携し、情報交換を密にすることで、教育活動を円滑に遂行することができた。作業情報を各分掌でストックすることができている。</p> <p>③仕事量、人数の適切な組織体制については、検討継続中である。</p>	B	<p>①②本校に入学を希望する中学生の増加を図るために、情報発信回数を増やす。(特にサイトの更新)</p> <p>そのために、権限や業務のフローを再検討する。</p> <p>①②③連携をとりながら、地域に開かれた選択される学校となるよう取り組んでいく。</p> <p>特に豊かな心を育み、地域の一人としての自覚を持たせるための、学校行事や体験活動は引き続き充実させる。</p>	<p>・ホームページの更新回数については、具体的な数値があるとよい。</p> <p>・中学校でもタイムカードなどで時間を管理することから、レコーディングダイエットを実施している。しかし、なかなか効果は出ていない。</p> <p>・働き方改革については、ノー残業デーや考査時、部活動時間など目標を決めてはどうか。</p> <p>・時間外勤務対策のための留守番電話対応について、すでに導入しているが、保護者への個別対応などが必要で、効果は限定的である。</p> <p>・学校図書館の隣住民への開放はできないか。</p>